

夕刊 駅停話

586 いすみ鉄道② 西大原

自ら崖掘りチーズ作り



西大原駅を過ぎると、車窓には早くも田園風景が広がる。駅から1.3キロほど南の小山の裾にあるのが、「フロマージュKOMAGATA」。駒形雅明さん(78)が2001年からチーズ作りを続けている。乳業メーカーで働いてきたが、この地が気に入った。みずから重機を使って杉山を造成した。1畝の土地に自宅と作業場、小さなゴルフ練習場を造った。作業場の奥に、崖を掘った4平方メートルの熟成室もある。日本の牛乳を作りたい。本場のチーズを作りたい。と、乳酸菌の組み合わせに工夫を重ねて、7種類のチーズを製造している。毎日、午前8時半から大鍋で

警察官も「おもてなし」



日本を訪れる外国人が増えているのを受け、警察が外国人への「おもてなし」の向上に力を入れている。簡単にコミュニケーションが取れる会話帳や翻訳ソフトの導入、外国語の対応ができる臨時交番の設置……。各地の先進的な取り組みを全国に広げている。

観光客にきわむ横浜市中心部の「横浜中華街」。最寄り駅は1月下旬、2人のカナダ人女性が道案内を求めた。[There do you want to go?] (目的地はどこですか)。堀江警察署巡査(2)は片言の英語で話しながら、A3サインの会話帳を渡した。ケイト・スミスさん(22)がA.T.M.のイラストを指すと、地図を見せながら道順を説明した。スミスさんは「言葉がわからないので困っていた。日本の警察官は親切ですね」。

堀江巡査が使ったのは、会話帳や翻訳ソフトの導入、深夜を問わず通訳を手配できる体制作り、観光地や繁華街を管轄する警察署や交番への外国語対応の警察官の配置、繁忙期の観光地への外国語の対応ができる臨時交番の設置、遺失物類などの書類への英語併記、刑事手続が記載された「被害者の手引」の外国語版の整備、外国人が理解しやすい道路標識の検討、大規模災害時の外国語による避難広報、交番やパトカーへの「POLICE」表記



甲府市内で当てる逃げ事故を17日に起こし、その後、酒気帯び運転をしたとして、山梨県警は17日夜、山梨県甲府市中下条、日本年金機構甲府年金事務所の長

も昨年、ポケット版の英語版を作った。群馬県警は県内に多くのベトナム人が住んでいるためベトナム語版を作成。来年度、他の7言語の会話帳も作る計画だ。昨年8月に29言語に対応できる翻訳ソフトが入った携帯タブレット端末を導入したのは岡山県警。外国人が訪ねてくる頻度が高い15ヶ所を重点的に対応した。昨年未だの5ヶ所間計97回使ったという。富山、石川の両県警と京都府

訪日客 2000万人に迫る

日本政府観光局によると、昨年1年間に日本を訪れた外国人旅行者は約1973万人。過去最多だった前年を約632万人(47.1%)上回った。観光庁のまとめでは、外国人が旅行中に日本国内で使ったお金の前年比約1兆4493億円(71.5%)増の約3兆4771億円、初めて3兆円を超えて、過去最高になった。警察官が外国人に対応する機会も増えている。警察庁によると、日本語ができない外国人からの110番通報は2012年は920件だったが、13年は1026件、14年は1241件、15年はこれを約1万8000件(全体の0.2%)が外国人からの通報だった。

人問らしく生きるために「不可欠な手」の専門医

第1次世界大戦のとき、手を負傷した人は多く、その治療や社会復帰は非常に困難だった。その後、第2次世界大戦中にアメリカで手外科の専門医チームが、負傷者の治療に目覚ましい効果を出したことをきっかけに1946年、AASSH(米国手外科学会)が設立された。日本では57年、九州大学整形外科の天児和教授が中心となり、JSSH(日本手外科学会)が設立された。

機能を守り修復するために「技術」を磨き連携を図る

指には細い血管や神経が通り、その運動機能は非常に細かく複雑です。切断された指をつなぐ手術は、マイクロサージャリー(顕微鏡下での手術)の発展により、65年、世界で初めて奈良県立医科大学で成功しました。骨だけでなく、血管や神経をつなぐ非常に繊細な手術は、外科手術の中でも極めて高度な技術が必要とされます。手の疾患に関する医学的スペシャリストを育成していくことも、学会の使命です。

日本手外科学会ホームページ

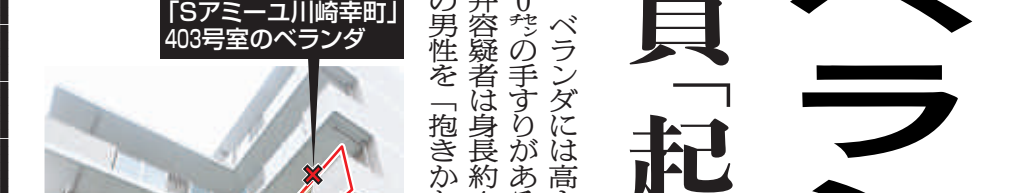
日本手外科学会ホームページには、全国の手外科専門医のいる病院がわかるほか、手や腕のケガに関する基本的な処置のアドバイスなどが掲載されています。

http://www.jssh.or.jp/

「無理やりベランダへ」

川崎の転落死 元職員「起こした」

川崎市の有料老人ホームで入所中の男女3人が転落死した事件で、4階から男性(当時87)を投げ落としたとして殺人容疑で逮捕された元職員・今井軍人(容疑者23)が「殺っていた男性を起し、無理やりベランダまで歩かせた」と供述していることが捜査関係者への取材でわかった。神奈川県警は当時の詳しい経緯を調べている。



ベランダには高さ約1.2メートルの手すりがあるが、今井容疑者は身長約1.60メートルの男性を「抱きかかえて投げ落とした」と説明している。動機については「男性は手がかかるといった「仕事のストレスで」

「Sアミーユ川崎幸町」403号室のベランダ

「夜間の見回りや居室に行ったら見当たらず、まさかと思いついてベランダから下を見たら人影が見えた」と説明した。甲府府警は「防犯カメラの映像や目撃証言などなく、物証にも乏しいため、県警は供述内容の裏付けを慎重に進めている。

児童ポルノ投擲 小学教諭に容疑

神奈川県警が逮捕した児童ポルノ投擲容疑者として、神奈川県警は18日、大阪府交野市立小学校の臨時教諭、秋本慎一容疑者(40)を大阪府豊中市小曾根1丁目10番を児童ポルノを共有できるアプリ「写真箱」に児童ポルノを撮影した動画データなど10件を写真箱に投稿した疑いがある。「インターネット」上で収集したもので、自分で撮影したものでない」と説明しているという。

年金事務局長 酒気帯び容疑

甲府市内で当てる逃げ事故を17日に起こし、その後、酒気帯び運転をしたとして、山梨県警は17日夜、山梨県甲府市中下条、日本年金機構甲府年金事務所の長

北朝鮮に日用品 不正輸出の疑い

貿易会社社長を逮捕

北朝鮮に日用品を不正に輸出したとして、京都府警は18日、貿易会社「聖光商事」(東京都台東区)社長、金野哲彦容疑者(48)を外国為替・外国貿易法違反(無承認輸出)容疑で逮捕した。同社ほか、関連先として在日朝鮮人総連合会(朝鮮総連)傘下の在日朝鮮合資経済交流協会(合資)など数カ所の家宅捜索を始めた。捜査関係者への取材でわかった。府警によると、金野容疑者は2014年1月、日本政府が経済制裁で輸出を禁じる北朝鮮に、下着や食器などの日用品(約640万円相当)を輸出した疑いがある。

Around Tokyo

最新ゲーム機 勢ぞろい

ゲームの見本市「ジャパニーズミュージアム エキスポ」が19、20日に千葉市の幕張メッセであり、20日は一般の人でも入場できる。国内外の約40社がビデオゲームやメダルゲーム、プリントシール機などの最新機器を出展。音楽ゲームの腕を競う全国大会もある。入場料は1千円、小学生以下と60歳以上は無料。問い合わせはNTTハローダイヤル(03・5777・8600)。

全国の陶器50万点

「全国大陶器市」が20日からさいたま市大宮区の大宮第二公園で開かれる。全国から約45の業者が参加し、有田焼や信楽焼、萩焼、備前焼などが市価の3〜5割引きで購入できる。どんぶりや大皿、湯のみ、茶わん、花瓶など約50万点が販売され、中心価格帯は300〜1千円。梅まつりとの同時開催で、梅林横の特設会場が開かれる。3月6日まで。各日午前10時〜午後5時(最終日は午後3時まで)。入場無料。

東京周辺のイベントやスポット、生活に役立つ情報などを掲載します。情報はaroundtokyo@asahi.comへ

障害ある子 アート彩る



東京都立の特別支援学校の児童・生徒らによる芸術作品の展示会「アートプロジェクト展〜東京の街を彩る〜」が20〜28日、東京都港区の伊藤忠青山アートスクエアで開かれる。都教育委員会が障害のある子どもたちの芸術への意欲を高め、才能を伸ばそうと初めて企画。東京芸術大の教員らが選んだ絵画や版画、写真、工芸、陶芸など50点が展示される。無料。午前11時〜午後7時。21日は休館。

国内産ワインを学ぼう

国内産のワインについて学ぶ「日本ワインシンポジウム」が3月8日、品川グランドセントラルタワー(東京都港区)3階の「THE GRAND HALL」である。ワインの世界的な権威「マスター・オブ・ワイン」の称号を持つ大橋健一さんの基調講演や、俳優の辰巳琢郎さんらと交えた座談会などがある。試飲もできる。定員300人。応募は2月20日までにメール(info@jwinesymp.com)。問い合わせは事務局(0120-014-116)。

東京周辺のイベントやスポット、生活に役立つ情報などを掲載します。情報はaroundtokyo@asahi.comへ

社会と医療

時代とともに進化する

【第3回】

医師や研究者、医療従事者は、それぞれの領域で自発的に「学会」を形成している。医学に関する科学や技術の研究促進、情報の集約や社会への提言など、活動は多岐にわたる。そこには、質の高い医療を提供し、病気の治療や管理、予防に貢献するという目的がある。このシリーズでは、医療系の各学会が取り組む課題や先進的な活動を紹介する。第3回は、日本手外科学会の理事長・矢島弘嗣さんと副理事長・三上容司さんに話を聞いた。

意外に身近な手の疾患 手外科の存在の認知は課題

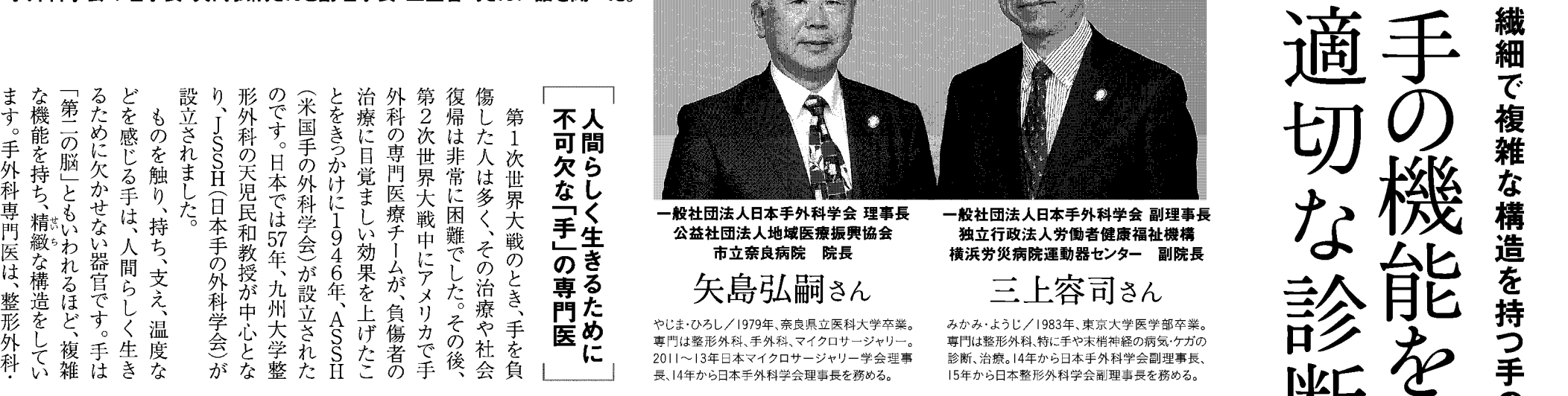
手首や手指は体の中でも特にケガをしやすい部分です。常に露出しており、顔の次に人の目に触れやすい部位でもあるため、自由に動かすための機能回復は必要とされています。手外科で扱う疾患として多いのが、転んで手をついたときに起こる手首などの骨折です。整形外科で治療できますが、整復が難しく、手

広告特集

日本手外科学会

織細で複雑な構造を持つ手の治療の重要性

手の機能を修復する 適切な診断と治療



矢島弘嗣さん

一般社団法人日本手外科学会 理事長
公益社団法人地域医療振興協会
市立奈良病院 院長

三上容司さん

一般社団法人日本手外科学会 副理事長
独立行政法人労働者健康福祉機構
横浜労災病院運動器センター 副院長

の機能を失う恐れのある場合には、専門医にかかると安心です。以前はギプスで固定して治療することが多かったのですが、最近では早く動かせるようにプレートを使って固定する手術が主流になっています。このプレートは骨粗鬆症の人に起こりやすい粉砕骨折にも対応できます。指がしびれたり、痛みが出たりする手根管症候群は、妊娠中の女性や更年期以降の女性に多い病気です。最近では内視鏡を使った手術も可能で、ほとんど傷も残らず治療することができるようになりました。違和感を感じたり、痛みがあったりしたら専門医に相談してほしいと思います。